



▲スマホでも
ご確認いただけます

Rectia 施工説明書

このたびはお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
施工前に、この施工説明書をよくお読みのうえ、正しく取り扱ってください。
お読みになった後は、大切に保管してください。



ご使用になる前に 安全上のご注意 ～必ずお守りください～



警告

取り扱いを誤った場合、怪我を負うことが
想定される内容を表します。



注意

取り扱いを誤った場合、物的損害の発生が
想定される内容を表します。

警告	
●2人以上で運搬してください。	⇒重量物です。身体を痛める恐れがあります。 (3×8尺板1枚当り約11.7kg)
●本製品の取り扱い時には滑り止め付き保護手袋を着用してください。	⇒本製品の落下による破損や端部に接触した際、怪我をする恐れがあります。
●本製品の加工端部は面取りを行なってください。	
●加工時には粉塵用保護マスク、保護メガネを着用し十分な換気をしてください。	⇒粉塵、破片又は有機溶剤を吸い込み、健康を害する恐れがあります。
●室内等の換気の悪い場所では、集塵機能のついた切断機を使用するか、換気を良くして作業してください。	また、異常を感じたら直ちに医師の手当てを受けてください。
●接着剤、両面テープを使用する際は換気してください。	
●禁止された下地には施工しないでください。	⇒剥がれによる落下の恐れがあります。
●弊社指定の接着剤、両面テープ以外は使用しないでください。	
●両面テープのみで貼り付けはしないでください。	
●壁面施工用です。天井や床面へは使用しないでください。	⇒天井で使用した場合、落下の恐れがあります。 ⇒床面で使用した場合、表面はすべりやすく、転倒する恐れがあります。
●建築基準法、火災予防条例に従って施工してください。	⇒火災の原因となります。また、本製品の表面が焦げたり破損する恐れがあります。
●コンロ廻りでは家庭用調理器具(4,600kcal以下)を使用してください。	
●業務用調理器具の壁面には使用しないでください。	
注意	
●運搬中、折り曲げるような応力をかけないでください。	⇒本製品が劣化、破損する恐れがあります。
●内装壁面用途以外には使用しないでください。	
●サウナなどの乾燥室内や、温泉内壁など常に湿潤状態が継続し、酸やアルカリ成分を含むような厳しい条件が伴う場所には施工しないでください。	
●本製品にビス打ちしないでください。	
●加工コーナー部分にはR処理を施してください。	
●地面やコンクリート面には直接置かず、厚板やパレットの上に平積保管してください。	⇒本製品が反り、施工できなくなる恐れがあります。
●製品の上を歩いたり腰掛けたり物を置かないように注意してください。	
●保管時、直射日光または水濡れするような場所は避けて、屋内の風通しの良い所に保管してください。	
●立て掛け置きはしないでください。	
●水平面に置いて反りが10mmを超える製品は施工しないでください。	
●施工用下地は、当社が推奨する下地を使用してください。	⇒剥がれ、端部浮き上がりの恐れがあります。
●専用接着剤を均一に塗布し、製品の外周は必ず専用接着剤を塗布してください。	
●突き付け施工しないでください。	
●本製品は柄に方向性があります。基準辺を示すシールを貼付しておりますので、必ず製品の向きをご確認のうえ施工してください。また、基準辺は柄が繋がるようにカットされているため、タイル柄を切り落とさないでください。	⇒複数枚のパネルを連続して貼り合わせた際にタイル柄が繋がらず、意匠性が損なわれる恐れがあります。
●製品をカットする際は、長さ方向、幅方向共にタイル柄に沿ってカットしてください。	
お願い	
●金属タワシ、ナイロンタワシ、磨き粉など硬いもので磨かないでください。	⇒本製品が劣化したり、光沢が失われる恐れがあります。
●酸や、毛染めなどの薬液がついたまま放置しないでください。	
●施工後、強く叩いたり、硬いものをぶついたりしないでください。	⇒本製品が破損する恐れがあります。
一般的な施工の流れ	
①作業準備	②下地処理
③採寸・割付	④加工
⑤両面テープ貼付 専用接着剤塗布	⑥製品貼付
⑦コーキング ジョイナー施工	⑧養生・仕上げ

○本製品は事業者を対象とした業務用製品です。廃棄する場合は、産業廃棄物として適切に処理してください。

○製法上、柄とエンボスが完全に一致しないことがあります。

○製法上、目地柄とカットラインが平行にならないことがあります。

工 程	手 順		注 意 点	
①作業準備	破損、傷の有無を確認 平積み保管 完全防備		・ 施工前に品番、数量及び輸送上の破損、傷のないことをご確認ください。 ・ 製品の保管時は、屋内の平らな場所に厚板やパレットの上に平積みしてください。 ・ 下記工具をご用意ください。	
	副資材	専用接着剤(キッチン用・バスルーム用)、両面テープ、コーキング剤、ジョイナー、マスキングテープ、腰壁パネル、装飾部材など		
	保護具	保護手袋、保護メガネ、防塵マスク		
	採寸・割付	木槌、振り下げ、水準器、差し金、墨つぼ、スケール、メモ用紙、筆記具		
	加工	電動鋸、ドリル、合板(下敷き用)、ダイヤモンドソーまたは目の細かいチップソー、ホールソー、グラインダー、サンドペーパー、ケガキカッター、ハンディーソー、金ヤスリ		
②下地処理	タイル面 塗装面 壁紙面		・ 本製品の施工が可能か下地の確認をしてください。 ・ 不陸のないように精度良く仕上げてください。不陸がある場合は調整ください。3mmまで⇒両面テープを重ね貼りする。3mm以上⇒ボードの捨て貼りで下地を作成する。 ・ 下地施工、プライマー塗布は材料メーカーが指定(推奨)する施工方法を厳守してください。 ・ タイル下地の場合は油汚れ、水垢、皮脂汚れ、石鹸カスなどがないように清掃すること。洗浄後は充分乾燥させる。	
	⚠ 使用禁止下地 ・ 塗装面 ・ 壁紙面 ・ ALC躯体への直接貼り ・ RC壁面への直接貼り ・ 発泡断熱材への直接貼り ・ ユニットバス壁面 ・ 湿気を帯びた下地 ・ 凹凸のある下地	推奨下地	下地の条件	
		・ 石膏ボード(プラスターボード)	t=12.5mm以上	プライマーを全面に塗布してください。 推奨:コニシ株式会社 シールプライマー#7
		・ 構造用合板(耐水合板)	t=9.0mm以上	
		・ 珪酸カルシウム板	t=5.0mm以上	
・ 繊維強化セメント板	t=5.0mm以上			
・ フレキシブルボード(※浴室施工可能下地)	t=5.0mm以上	プライマーを全面に塗布してください。 推奨:コニシ株式会社 シールプライマー#7		
・ 浴室以外のモルタル仕上げ面 (含水率4.5%以下、接着強度1.0N/mm ² 以上、 平滑な金ゴテ仕上げ、不陸2mm以下)				
・ タイル面(※浴室施工可能下地)	浮き上がりのないこと			
※その他、上記にない下地は必ず当社までお問い合わせください。				
採寸・割付・加工について				
施工枚数、施工場所によって、割付・加工方法が異なります。				
ただし、「本製品の採寸・割付、加工(切断、トリミング)」は施工内容によらず共通の施工手順となりますので、必ずご参照ください。				
別紙に、「A 本製品を1枚貼る 場合」「B-1,2 キッチン回り等に 正面と袖壁に貼る 場合」の推奨施工方法を記載しておりますので、該当箇所に従って施工してください。				
本施工説明書における用語と図について				
本施工説明書では、使用する用語や図の表記について次のように定めています。必要に応じて、本項目をご参照ください。				
＜用語の説明＞ 「目地カット」…縁から1列目のタイル柄と並行に印をつけて、目地柄部分を切り落とすようにカットすること。 「直角カット」…目地カットした辺を基準に、さしがね等を使用して直角にカットすること。 「必要寸法カット」…割付に従い、必要な寸法でカットすること。 「基準辺」…出荷時点で目地カット済みの長辺、短辺の各1辺のこと。基準辺を示すシールを貼付済み。				
＜図の説明＞ 本製品の拡大図 タイル柄と目地柄の境目をカットし目地柄部分を切り落とす 目地柄 タイル柄 目地カット線 直角カット線 必要寸法カット線 本製品(例3×8)の全体図 ☆ 長辺の基準辺表示シール ★ 短辺の基準辺表示シール				
本製品の採寸・割付、加工(切断、トリミング)手順				
③採寸・割付	下地採寸 製品採寸		・ 納まりを考慮し全体の割付を行ってください。 ・ 本製品の外周に3mmのクリアランスを取ってください。 ・ 下地の目地と本製品パネル間のクリアランスが重ならないようにしてください。	
	※切り欠き部分にクラック発生の危険あり		・ 出窓、もしくはカウンターなどの切り欠き部分は、製品を分割するセパレート施工を行ってください。 ・ 切り欠き部分が、連続するような割付けはしないでください。 ・ 突き付け施工はしないでください。	
④加工(切断)	裏面		・ 切断は電動鋸又はケガキカッターを使用してください。鋸刃はキッチンパネル用(不燃メラミン化粧板用)又はダイヤモンドソーを使用してください。(※木工用のチップソーを使用するとカット面にバリが出る恐れがあります。) ・ 電動鋸使用時は鋸刃の回転方向が化粧面から裏面側へ抜けるように、ケガキカッター使用時は化粧面にケガキ傷をつけてカットしてください。	
			・ 切断時に製品の浮き上がり、振動が無いように固定してください。 ・ チップソーを使用する場合は歯数の多い新品の超鋼歯を使用してください。	
④加工(トリミング)	a) 長辺の基準辺☆ 両端のタイル柄の幅を測定 差が1mm以上の場合 → 目地カット推奨 b) 目地カット c) 直角カット		・ 本製品を開梱後、長辺基準辺☆のカットラインと柄が平行になっているか確認してください。斜めになっている場合は、目地カットを推奨します。 ・ 左図aのように、長辺基準辺☆の両端にある2つのタイルについて、カットラインからタイル柄内側の辺までの距離をそれぞれ測定してください。 ・ 差が1mm以上の場合、目地カットを推奨します。左図bのように、長辺の基準辺☆に縁から1列目のタイル柄と並行に印をつけて、目地柄部分を切り落として目地カットをしてください。 ・ 差が0mmかつタイル柄に沿っている場合、目地カットは必要ありません。 ・ もう片側の長辺は、割付に従って、必要な幅寸法に印をつけてカットしてください。 ・ 左図cのように、下側の短辺は、長辺方向を基準に直角になるようにさしがね等を使用してタイル柄に沿って印をつけ、直角カットしてください。 ・ 上側の短辺は、必要な長さ寸法に印をつけてカットしてください。	
			・ エンボスではなくタイル柄に沿って印をつけ、目地カットしてください。 ・ 本製品は柄に方向性があります。必ず製品の向きをご確認のうえ施工してください。 ・ 目地カットは、タイル柄を切り落とさないように目地柄部分のみ最小限で切り落としてください。 ・ 柄の関係上、直角にカットした場合1mm程度斜めになる場合があります。	

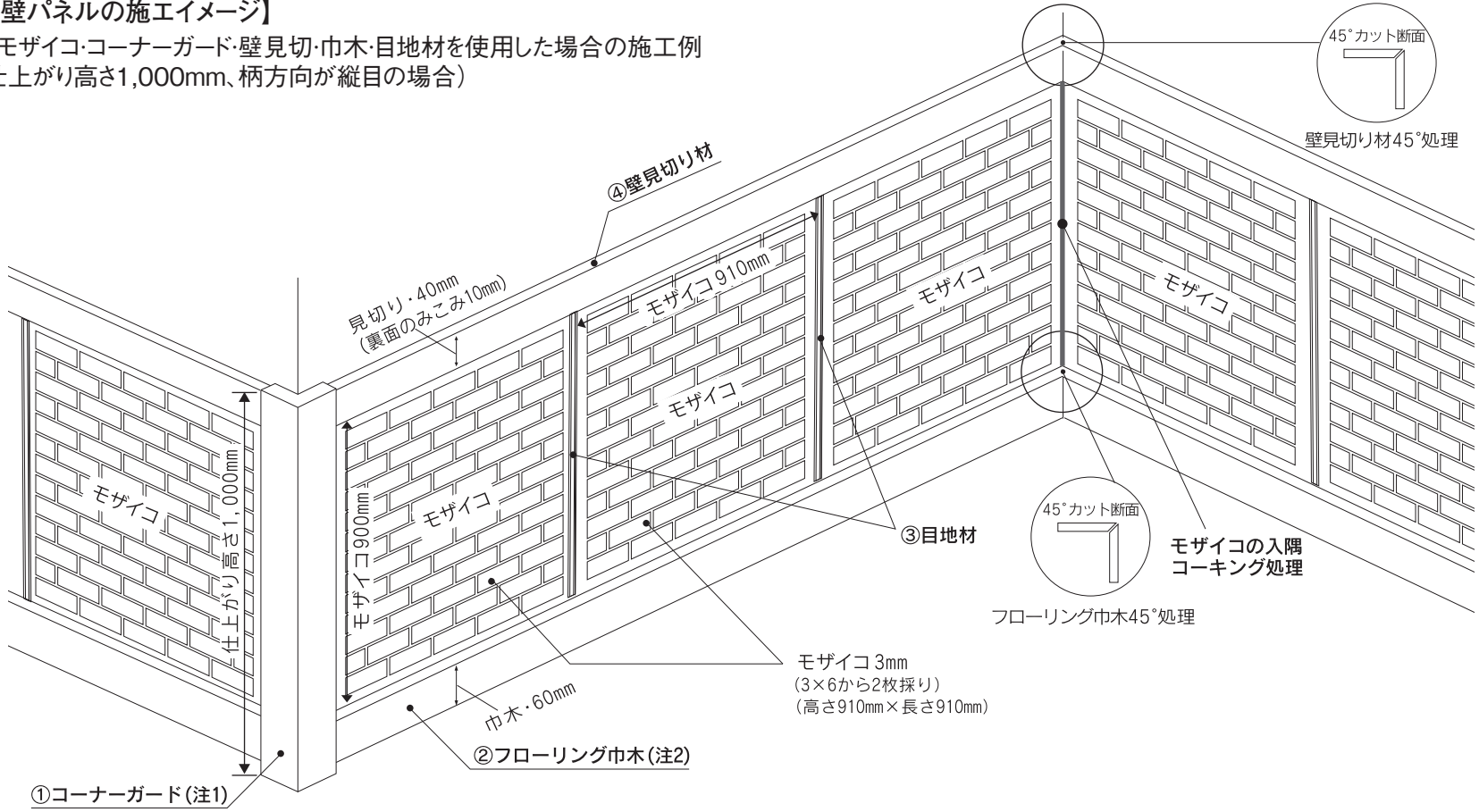
工 程	手 順	注 意 点								
④加工(穴あけ)	・ 切り欠き、くり抜きがある場合は、コーナー部へ12Φ以上の穴を開けてください。 ・ 合板を下敷きにしてパネルと固定し、電動ドリル、ホールソーを使用し、化粧面側から穴を開けてください。	・ パニートに直接、釘・ビスを打たないで下さい。ひびわれの原因になります。万が一、打つ場合にはネジ径よりも大きい穴(バカ穴)をあけて下さい。								
【切り欠き・穴あけ加工の注意点】 ●合板を下敷きにしてコーナー部分に穴を開ける。 ●鋸で切断する ●カットしたコーナー面を平滑に仕上げる。 ※左のような加工をした場合、クラック発生の原因となります。 ※コンセント穴等、パネル貼り付け後の加工が想定される場合は、必ずR処理を申し送りしてください。 【コンセント又はスイッチBOXの穴あけ加工の注意点】 ●φ50以上のホールソーで穴を2カ所開けてグラインダー又はジグソーで連結し切断面を平滑に仕上げる。										
④加工(仕上げ)	・ 加工部分は鬼目ヤスリ又はサンドペーパー(#180～320)で面取りを行い、平滑に仕上げてください。									
⑤両面テープ貼付専用接着剤塗布	・ 必ず当社指定の専用接着剤、両面テープを使用してください。 ・ 製品端部から20mm～30mm以内に両面テープを貼ってください。 ・ 専用接着剤を外周部から10mmひかえた位置と中央部に塗布してください。 ・ 浴室リフォームの場合は、必ずバスルーム専用接着剤(1液型エポキシ樹脂系接着剤)をご使用ください。 (※浴室の施工には防水テープの使用を推奨します。 防水テープ推奨品 コニシ株式会社 VF194)	・ 両面テープは仮止め材です。接着目的に使用しないでください。 ・ 専用接着剤は所定の使用量を守り、製品の<u>外周</u>には必ず専用接着剤がくるように塗布してください。 <table><tr><th>使用量目安</th><th>部材1単位あたりに使用できる製品(3×8尺板)枚数</th></tr><tr><td>●接着剤(キッチン用)</td><td>1本あたり製品1枚</td></tr><tr><td>●接着剤(バスルーム用)</td><td>1本あたり製品1枚</td></tr><tr><td>●両面テープ</td><td>1巻あたり製品1枚</td></tr></table>	使用量目安	部材1単位あたりに使用できる製品(3×8尺板)枚数	●接着剤(キッチン用)	1本あたり製品1枚	●接着剤(バスルーム用)	1本あたり製品1枚	●両面テープ	1巻あたり製品1枚
使用量目安	部材1単位あたりに使用できる製品(3×8尺板)枚数									
●接着剤(キッチン用)	1本あたり製品1枚									
●接着剤(バスルーム用)	1本あたり製品1枚									
●両面テープ	1巻あたり製品1枚									
【標準塗布パターン】 ＜一般＞ 端部は必ず直線で塗布 ＜切り欠き＞ 内部は必ず波線で塗布 端部は必ず直線で塗布 ●開口部・切り欠き部は、仮留めテープ・接着剤により補強して下さい。 (下地側に仮留めテープ貼付・接着剤塗布する場合も同様です)										
⑥製品貼付け	・ 専用接着剤塗布後10分以内で所定の位置に貼り合わせてください。 ・ 本製品の<u>外周</u>に3mmのクリアランスを取ってください。 (本製品の端材をスペーサーとして挟むと便利です。) ・ 両面テープの位置を手で押さえこむようにして、充分接着させてください。	・ 両面テープの離型紙(りけいし)の剥がし忘れにご注意ください。 ・ 一度貼ると剥がせません。 ・ 突き付け施工はしないでください。 ・ 全体を強く叩いたり、押さえたりすると接着剤が「泣き別れ」を起し、接着しない場合があります。								
⑦コーキング	・ マスキングテープを貼って奥までしっかりとコーキング剤を注入してください。 ・ ヘラなどを用いて余分なシリコンをかきとってください。 ・ マスキングテープをゆっくり内側にはがしてください。	・ はみ出し部分はすぐにきれいな布で拭き取ってください。 <table><tr><th>使用量目安</th></tr><tr><td>●コーキング剤 1本あたり約15m(3mm目地とする)</td></tr></table>	使用量目安	●コーキング剤 1本あたり約15m(3mm目地とする)						
使用量目安										
●コーキング剤 1本あたり約15m(3mm目地とする)										
⑦ジョイナー施工	・ ジョイナー内クリアランスに専用接着剤もしくはコーキング剤を注入してください。 ・ 浴室施工の場合は水のまわり込みがないように、必ず本製品とジョイナーの隙間にコーキング剤を注入してください。	・ ジョイナー内で突き付けにならないようにしてください。								
1)仕舞用	2)平目地用	3)出隅用	4)入隅用							
⑧養生・仕上げ		・ モップ・ブラシ等をパネルに強く当てますと、傷やヘコミの原因となります。また金属たわし、ナイロンたわし、研磨剤入りの洗剤等を使用すると表面に傷が付きます。 ・ 酸性又は強アルカリ洗剤等は、本製品の表面を変色させる恐れがありますので使用しないでください。								

モザイク3mm厚用 腰壁パネル装飾部材の施工方法

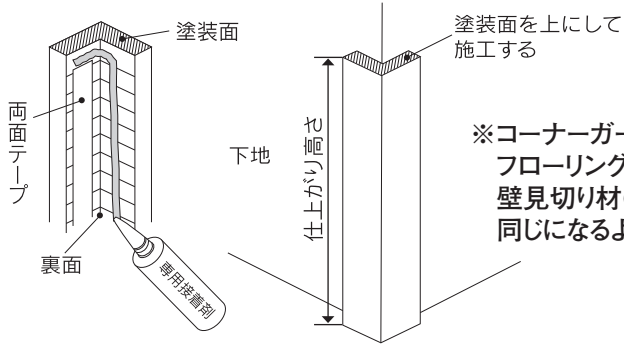
- 腰壁パネル装飾部材に使用する接着剤、両面テープは「キッチン用接着剤セット」を使用してください。
 - モザイクの施工前にまずはコーナガード(注1)、フローリング巾木(注2)を直接下地の所定位置に貼り付けます。
- (注意)コーナガードを必要とする壁面の場合は先にコーナガードを下地に貼り付けてから次に巾木を貼り付けてください。組合せ不具合に注意してください。

【腰壁パネルの施エイメージ】

※モザイク・コーナガード・壁見切り材・巾木・目地材を使用した場合の施工例
(仕上がり高さ1,000mm、柄方向が縦目の場合)



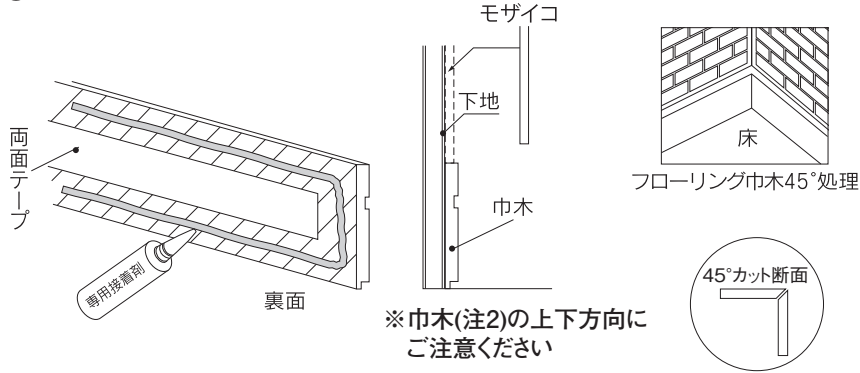
①コーナガード



※コーナガード(注1)の高さと
フローリング巾木、モザイク、
壁見切り材の仕上がり高さが
同じになるようにしてください。

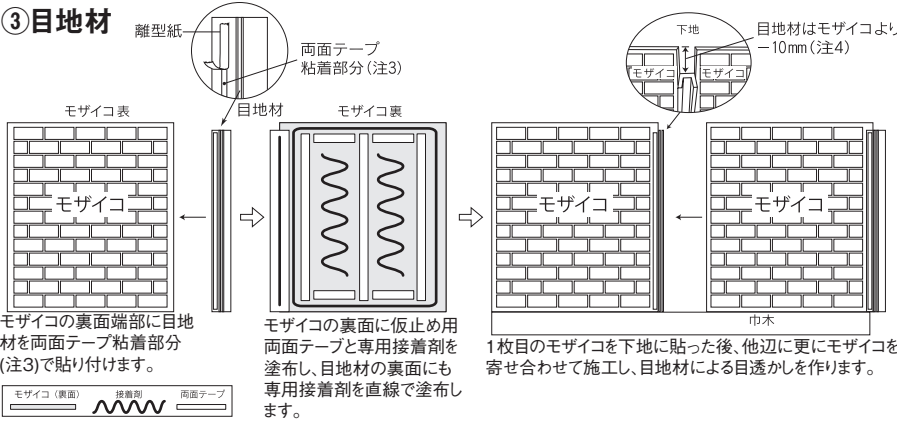
- ・コーナガードの上下端部は塗装がしてありますので、塗装面を上にして施工してください。
- ・コーナガードを正寸カットしてください。
- ・両面テープをコーナガード裏面側の片側1方向に貼り付けます。
- ・続いて他辺方向に専用接着剤を塗布してから下地に密着させてください。

②フローリング巾木



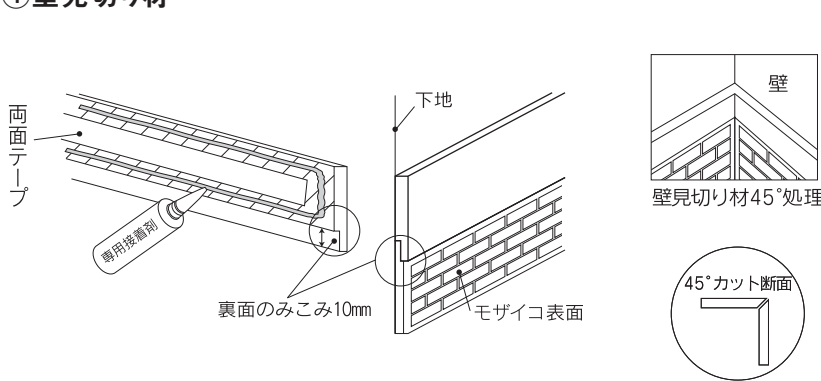
- ・フローリング巾木を正寸カットしてください。
 - ・両面テープを巾木裏面側の中央に貼り付けます。
 - ・続いて端部に専用接着剤を直線に塗布してから、下地に密着させてください。
- ※巾木の入隅コーナー収めは、スライド丸ノコを使用して斜め45°で処理してください。

③目地材



- ・目地材の長さは、壁見切り材のみこみが10mmあるのでモザイクの高さより10mm短くして正寸カット(注4)してください。
- ・予め目地材に貼り付けてある両面テープの離型紙を剥がします。
- ・続いてモザイク裏面端部に目地材を両面テープの粘着部分(注3)で貼り付けます。
- ・次にモザイクの裏面に両面テープを貼り付け専用接着剤を塗布した後、目地材の裏面にも専用接着剤を直線で塗布し所定の位置に貼り付けてください。
- ・その目地材の他辺に更に正寸カットしたモザイクを寄せ合わせて目地材による目透かしを作ります。

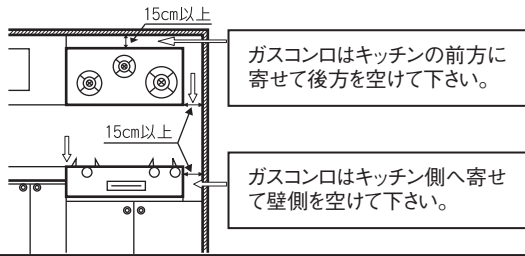
④壁見切り材



- ・壁見切り材を正寸カットしてください。
 - ・貼り合わせたモザイクの上面に壁見切り材を貼り付けます。
 - ・両面テープを壁見切り材裏面側の中央に貼り付けます。
 - ・続いて端部に専用接着剤を直線に塗布してから、下地に密着させてください。
- ※巾木と同様に壁見切り材の入隅のコーナー収めは、スライド丸ノコを使用して斜め45°で処理してください。

⚠️ コンロ周りに関するご注意

本製品と家庭用調理器具(4,600kcal以下)端部や機種によっては排熱口との距離は15cm以上確保して下さい。
15cm以上確保出来ない場合は30cm以上の高さの防熱板を本製品の表面から1cm以上離して取り付けて下さい。
また加熱された鍋類が本製品表面に直接触れないようにして下さい。
※上記条件を満たしても直接炎が本製品表面にあたらないようご注意下さい。
※ガステーブルはキッチン側(パネルから遠い側)、及び前面へ寄せて使用して下さい。ビルトインタイプ以外の場合は特にご注意下さい。
※本注意事項は法令上の注意事項ではありません。コンロ周りの設計に関しては火災予防条例に従い行って下さい。



お問い合わせ先

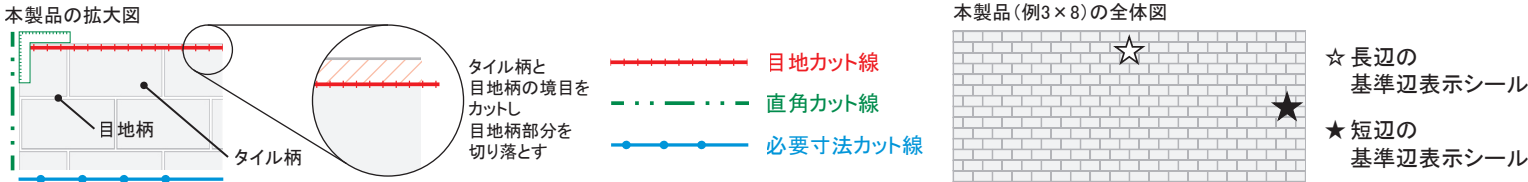
日本デコラックス株式会社

カスタマーセンター
フリーダイヤル
0120-19-3501
※携帯電話、スマートフォンもご利用いただけます。

〒480-0103 愛知県丹羽郡扶桑町柏森前屋敷10
TEL (0587) 91-3505
<https://www.decoluxe.co.jp/>

本施工説明書における用語と図について

＜用語の説明＞ 「**目地カット**」…縁から1列目のタイル柄と並行に印をつけて、目地柄部分を切り落とすようにカットすること。
「**直角カット**」…目地カットした辺を基準に、さしがね等を使用して直角にカットすること。
「**必要寸法カット**」…割付に従い、必要な寸法でカットすること。
「**基準辺**」…出荷時点で目地カット済みの長辺、短辺の各1辺のこと。基準辺を示すシールを貼付済み。



B-2 キッチン回り等に **正面・右袖** に貼る場合の採寸・割付・加工(トリミング)の流れ

工 程	手 順	注 意 点
③採寸・割付	・ AとB-1,2,3は、長辺の基準辺☆が 上側 となるように、タイル柄に沿った目地カットで割り付けてください ・ AとB-2は、目線高さ付近(床から約1.5m)の横方向のタイル柄目地ライン同士を一直線にすることで、隣接するモザイクのタイル柄が目線高さ付近で揃うように中央揃えで割り付けてください。 目線高さ付近拡大図 ← 横方向のタイル柄目地ラインが揃っている 横方向のタイル柄目地ラインがズれている ・ B-1,2,3は、パネル間の隣接するタイル柄が交互に並ぶように割り付けてください。 袖壁パネルの繋ぎ目拡大図 隣接するパネルのタイル柄が交互に並んでいる 隣接するパネルのタイル柄が交互に並ばず連続している ・ パネルのサイズ調整は、パネル同士が隣接しない辺で行ってください。	・ 「本製品の採寸・割付、加工(切断、トリミング)手順」をご参照ください。 ・ 本製品は柄に方向性があります。必ず製品の向きをご確認のうえ施工してください。 ・ Bは3×3サイズのご使用を推奨します。B-1,2,3の繋ぎ目のタイル柄が交互に整列し、Aとの繋ぎ目も柄が繋がります。
④加工(トリミング)	床から約1.5m ⇒ タイル柄の高さを合わせる a) 長辺の基準辺☆ 両端のタイル柄の幅を測定 差が1mm以上の場合 → 目地カット推奨 b) 目地カット c) 直角カット さしがね等を使用して直角にカット ＜Aのモザイク＞ ・ 長辺の基準辺☆について、カットラインと柄が平行になっているか確認してください(左図a)。斜めになっている場合は、目地カットして目地柄部分を切り落とすことを推奨します(左図b)。 ・ もう片側の長辺は、必要な幅寸法に印をつけてカットしてください。 ・ 短辺の基準辺★は、長辺方向を基準に直角になるようにさしがね等を使用して、外縁部にタイル柄に沿って印をつけ、最小限の切り落として直角カットしてください(左図c)。 ・ もう片側の短辺は、必要な長さ寸法に印をつけてカットしてください。 ＜Bのモザイクについて＞ ・ B同士が隣接する長辺について、カットラインと柄が平行になっているか確認してください(左図a)。カットラインと柄が斜めになっている場合や目地柄残りが1.5mm以上ある場合は、目地カットして目地柄部分を切り落とすことを推奨します(左図b)。 ・ 短辺の基準辺★は、長辺方向を基準に直角になるようにさしがね等を使用して、外縁部にタイル柄に沿って印をつけ、最小限の切り落として直角カットしてください(左図c)。 ・ パネルのサイズ調整は、パネル同士が隣接しない辺を、必要な長さ寸法に印をつけてカットしてください。 ・ 隣り合わせで貼るAを並べ、床から約1.5mの目線に来る高さで横方向のタイル柄目地ラインを揃えてください。	・ 「本製品の採寸・割付、加工(切断、トリミング)手順」をご参照ください。 ・ 目地カットは、タイル柄を切り落とさないように目地柄部分のみ最小限で切り落としてください。 ・ 基準辺☆★は柄が繋がるようにカットされているため、タイル柄を切り落とさないでください。